

指標の意義

早期浸潤性乳がんには乳房温存手術が勧められている。乳房再建術が普及すれば、その意義も変わってくる可能性。

指標の計算式、分母・分子の解釈

- 必要データセット：DPC様式1
- 分子：分母のうち、乳房温存手術が実施された症例数
- 分母：腫瘍径2cm以下のStage I乳がん(初発)で入院して手術を施行した症例数
- 分子÷分母（単位：パーセント）

分母の定義

- 解析期間に退院した症例を対象とする。
 - このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求めた18歳以上の症例。
 - このうち、乳房の悪性新生物（乳がん）の診断を受けた症例。
- いずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

ICD コード	病名
C50\$	乳房の悪性新生物

かつ、以下の2条件を満たす症例。

様式1「がんの初発、再発」が「初発」 かつ

「UICC病期分類(T), (N), (M)」がT1\$ (3桁以降はワイルドカード、T1a等を含む) またはT2、かつN0、かつM0

IV. このうち、下記手術を受けた症例。

手術情報の点数コードのいずれか（5フィールド）に以下のいずれかが含まれる症例

レセ電コード (診療行為コード)	手術点数コード	手術名
150121610	K4761	乳腺悪性腫瘍手術（単純乳房切除術）（乳腺全摘術）
150303110	K4762	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わない）
150316510	K4763	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩部郭清を伴わない）
150262710	K4764	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴う）
150121710	K4765	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）（胸筋切除を併施しないもの）
150386410	K4768	乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わない）
150386510	K4769	乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴う）

分子の定義

I. 乳房温存手術を受けた症例

手術情報の点数コードのいずれか（5フィールド）に以下が含まれる症例

レセ電コード (診療行為コード)	手術点数コード	手術名
150303110	K4762	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わない）
150262710	K4764	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴う）

測定上の限界・解釈上の注意

K-コード分類は年度により異なってくるので、その都度確認が必要です。

日本では、Stage I、II の浸潤性乳癌（主に腫瘍径3cm以下）に対しては乳房温存手術（+温存乳房照射）が標準治療とされ、さらに除外基準（5項目）をクリアするものは腫瘍径が3cm以上でも温存療法の適応となりうることが議論されています。

この指標40はタイトルを「腫瘍径2cm以下のStage I II 浸潤乳がんに対する乳房温存手術割合」としていますが、分母で「腫瘍径2cm以下のStage I 乳がん（初発）」症例に限定し、Stage II A, Bを除外しています。

考察

最小値 0.00 25%値 27.68 中央値 41.67 75%値 67.50 最大値 100.00 (%)

回答病院 65病院 （うち41病院が該当手術0件）

(2019年；最小値 0 25%値 31.25 中央値 55.00 75%値 66.67 最大値 100 回答病院 68)

前年に比べて25%値-3.57、中央値-13.33、75%値+0.83ポイントの変動がありました。

全対象症例に対する温存手術の割合は54.6%（72件/132件）で、前年の56.6%（150件/265件）に比して2.0ポイント減少していました。ただし、2020年は上半期6カ月の集計であり、前年の12カ月集計との比較には注意が必要です。各施設で、とくに分母数が小さい時には変動幅が大きく表れやすい点を含んで分析してください。

参考：「乳癌診療ガイドライン2018」BQ2 解説欄に「最近の日本乳癌学会の乳癌登録によると、乳房温存手術割合は2007年以降、約60%台と横ばいで推移しており、一方で再建を前提とした皮膚温存または乳頭温存乳房全切除術の件数が増加してきている。人工乳房再建の保険適応と、形成外科手術手技の進歩による影響と思われる」とあります。

改善・運用事例など

参考資料

- 乳房温存療法はStage I, II の浸潤性乳癌の局所療法として強く勧められる。ただし、適応を十分に吟味して行うことが望ましい。（推奨グレードA、乳癌診療ガイドライン2011、①治療編 外科療法CQ2）

- Stage I, II の浸潤性乳癌の局所療法として乳房温存療法は乳房全切除術との比較で生存率に差はなく、適応があれば乳房温存療法を第一選択とする。（乳癌診療ガイドライン2018、外科療法BQ2へのステートメント）なお、「適応除外とすべき条件」が5項目挙げられています。

40 : 腫瘍径2cm以下のStage I II 浸潤乳がんに対する乳房温存手術割合

指標40分母：腫瘍径2cm以下のStage I II 浸潤性乳がん（初発）で入院して手術施行した患者数

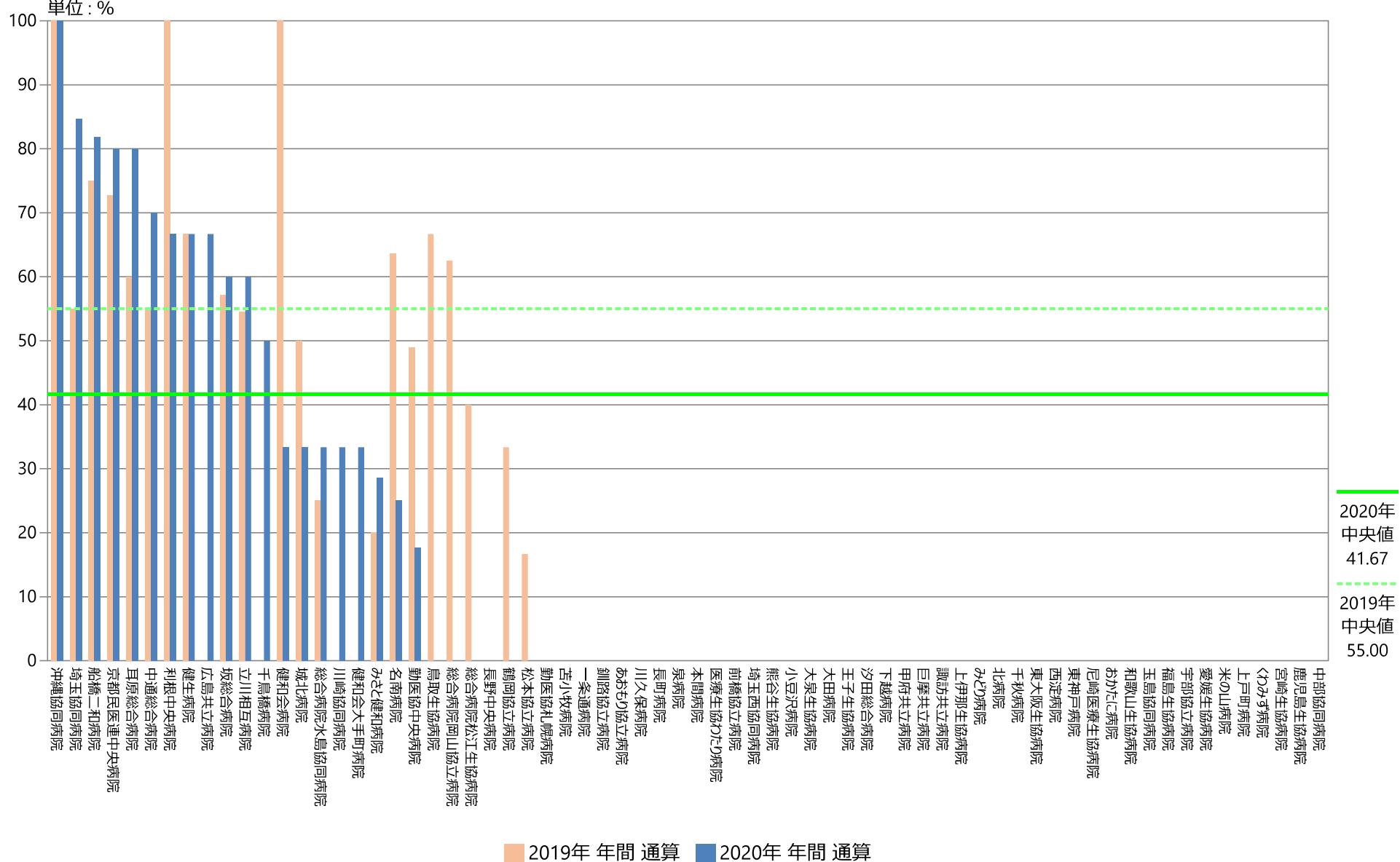
指標40分子：乳房温存手術が実施された患者数

指標40：腫瘍径2cm以下のStage I II 浸潤乳がんに対する乳房温存手術割合

	指標40分母		指標40分子		指標40	
	件	件	件	件	%	
	2019年 年間 合計値	2020年 年間 合計値	2019年 年間 合計値	2020年 年間 合計値	2019年 年間 通算	2020年 年間 通算
勤医協中央病院	45	17	22	3	48.89	17.65
勤医協札幌病院	0	0	0	0	なし	なし
苫小牧病院	0	—	0	—	なし	—
一条通病院	0	0	0	0	なし	なし
函館棲北病院	—	—	—	—	—	—
釧路協立病院	0	0	0	0	なし	なし
健生病院	6	6	4	4	66.67	66.67
あおもり協立病院	0	0	0	0	なし	なし
川久保病院	0	0	0	0	なし	なし
坂総合病院	14	5	8	3	57.14	60.00
長町病院	0	0	0	0	なし	なし
泉病院	0	0	0	0	なし	なし
中通総合病院	20	10	11	7	55.00	70.00
本間病院	0	0	0	0	なし	なし
鶴岡協立病院	3	0	1	0	33.33	なし
鶴岡協立リハビリテーション病院	—	—	—	—	—	—
至誠堂総合病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
医療生協わたり病院	0	0	0	0	なし	なし
前橋協立病院	0	0	0	0	なし	なし
利根中央病院	4	3	4	2	100.00	66.67
北毛病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
埼玉協同病院	20	13	11	11	55.00	84.62
埼玉西協同病院	0	0	0	0	なし	なし
熊谷生協病院	0	0	0	0	なし	なし
秩父生協病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
千葉健生病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
船橋二和病院	16	11	12	9	75.00	81.82
柳原病院	—	—	—	—	—	—
みどり健和病院	5	7	1	2	20.00	28.57
小豆沢病院	0	0	0	0	なし	なし
大泉生協病院	0	0	0	0	なし	なし
大田病院	0	0	0	0	なし	なし
中野共立病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
立川相互通院	22	5	12	3	54.55	60.00
王子生協病院	0	0	0	0	なし	なし
川崎協同病院	1	3	0	1	0.00	33.33
汐田総合病院	0	—	0	—	なし	—
下越病院	0	0	0	0	なし	なし
富山協立病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
城北病院	2	3	1	1	50.00	33.33
甲府共立病院	0	0	0	0	なし	なし
巨摩共立病院	0	0	0	0	なし	なし
石和共立病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
長野中央病院	3	1	0	0	0.00	0.00
健和会病院	5	3	5	1	100.00	33.33
諒訪共立病院	0	0	0	0	なし	なし
松本協立病院	6	0	1	0	16.67	なし
塙五協立病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
上伊那生協病院	0	0	0	0	なし	なし
みどり病院	0	0	0	0	なし	なし
三島共立病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
協立総合病院	—	—	—	—	—	—
北病院	0	0	0	0	なし	なし
名南病院	11	4	7	1	63.64	25.00
名南ふれあい病院	—	—	—	—	—	—
千秋病院	0	0	0	0	なし	なし
津生協病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
京都民医連あすかい病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
京都民医連中央病院	22	5	16	4	72.73	80.00
東大阪生協病院	0	0	0	0	なし	なし
西淀病院	0	0	0	0	なし	なし
耳原総合病院	20	10	12	8	60.00	80.00
コープおおさか病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
東神戸病院	0	0	0	0	なし	なし
尼崎医療生協病院	0	0	0	0	なし	なし
あおだに病院	0	0	0	0	なし	なし
土庫病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
和歌山生協病院	0	0	0	0	なし	なし
鳥取生協病院	3	3	2	0	66.67	0.00
総合病院松江生協病院	10	3	4	0	40.00	0.00
出雲市民病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
総合病院水島協同病院	8	3	2	1	25.00	33.33
玉島協同病院	0	0	0	0	なし	なし
総合病院岡山協立病院	8	2	5	0	62.50	0.00
福島生協病院	0	—	0	—	なし	—
広島共立病院	2	3	0	2	0.00	66.67
宇部協立病院	0	0	0	0	なし	なし
徳島健生病院	—	—	—	—	—	—
高松平和病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
愛媛生協病院	0	0	0	0	なし	なし
高知生協病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
健和会大手町病院	0	3	0	1	なし	33.33
千鳥橋病院	0	2	0	1	なし	50.00
たまらにリハビリテーション病院	—	—	—	—	—	—
米の山病院	0	0	0	0	なし	なし
みさき病院	—	—	—	—	—	—
上戸町病院	0	0	0	0	なし	なし
くわみず病院	0	0	0	0	なし	なし
大分健生病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
宮崎生協病院	0	0	0	0	なし	なし
鹿児島生協病院	0	0	0	0	なし	なし
国分生協病院	—	—	—	—	—	—
沖縄協同病院	9	7	9	7	100.00	100.00
中部協同病院	0	0	0	0	なし	なし
とよみ生協病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
最大値(外れ値を除く)	10.00	7.00	2.00	2.00	100.00	100.00
75%値	4.25	3.00	1.25	1.00	66.67	67.50
中央値	0.00	0.00	0.00	0.00	55.00	41.67
25%値	0.00	0.00	0.00	0.00	31.25	27.68
最小値(外れ値を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

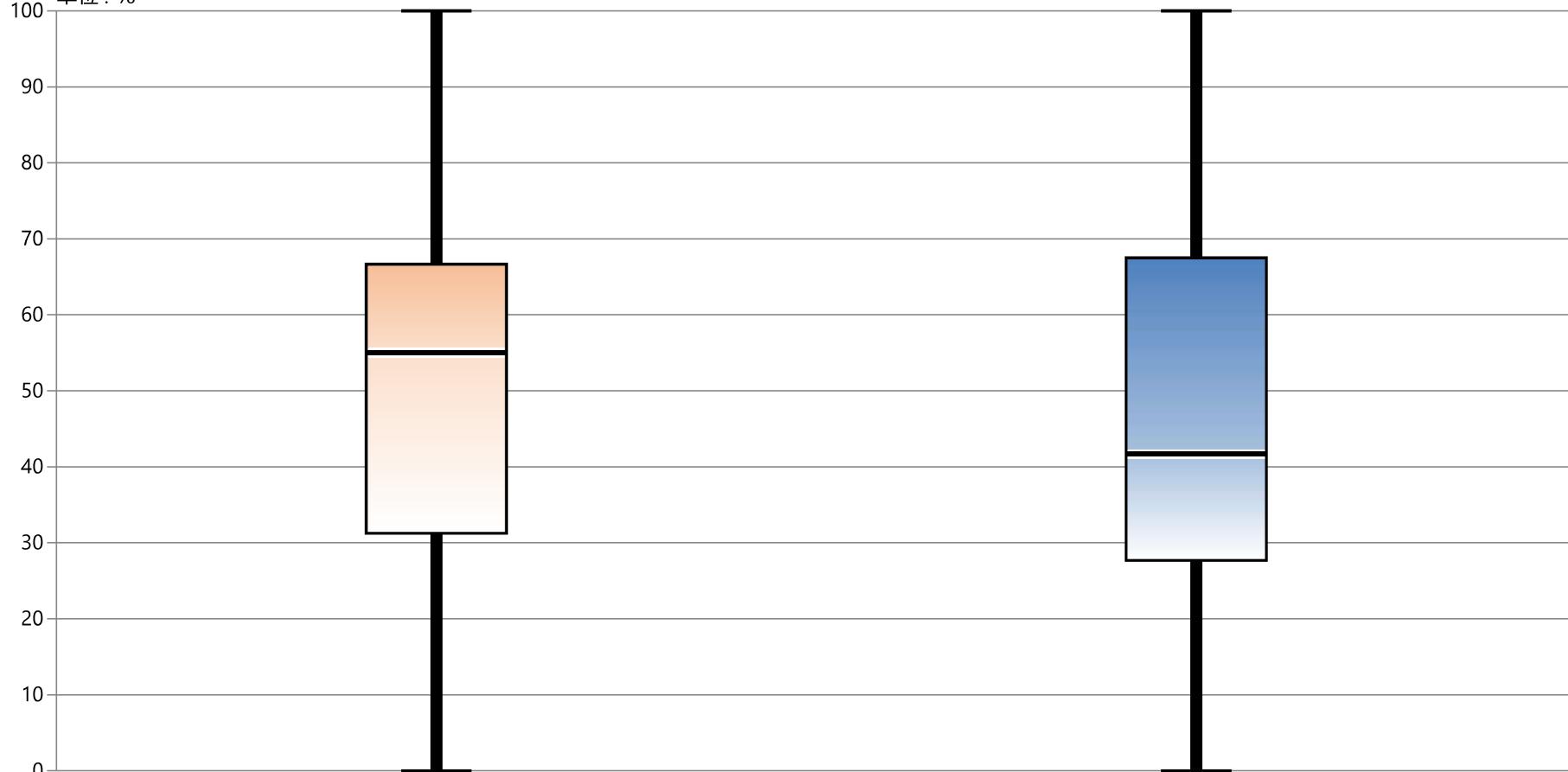
指標40：腫瘍径2cm以下のStage1 II 浸潤乳がんに対する乳房温存手術割合

指標40分母：腫瘍径2cm以下のStage I 浸潤性乳がん（初発）で入院して手術施行した患者数
 指標40分子：乳房温存手術が実施された患者数



指標40：腫瘍径2cm以下のStage I II 浸潤乳がんに対する乳房温存手術割合

指標40分母：腫瘍径2cm以下のStage I 浸潤性乳がん（初発）で入院して手術施行した患者数
指標40分子：乳房温存手術が実施された患者数
単位：%
100



* 外れ値を除く

2019年 年間 通算

2020年 年間 通算

最大値*	100.00	100.00
75%値	66.67	67.50
中央値	55.00	41.67
25%値	31.25	27.68
最小値*	0.00	0.00